

県内の野生イノシシでCSF(豚熱)感染が確認されています！

令和5年4～6月に、県内の野生イノシシ6頭で豚熱の感染が確認されています。

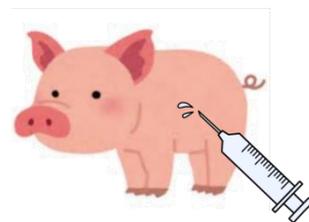
昨年の同時期（感染確認0頭）と比較して大幅に増加していますので、野生イノシシの侵入防止対策について改めて確認をお願いします。

また、引き続き豚熱ワクチンの適切な接種・年2回の抗体検査にご協力をお願いします。

■感染を確認した野生イノシシの概要

捕獲された市町村	検査年月	感染確認頭数
美里町	R5.4	1
皆野町	R5.5	1
秩父市	R5.5	2
	R5.6	1
滑川町	R5.6	1

※ 捕獲地点から半径10km圏内の養豚農家に連絡し異常がないことを確認しています。



兵庫県で初めて豚熱が確認されました！

7月21日、南あわじ市の豚飼養農場（約650頭飼養）において、豚熱を疑う事例があり、国の検査機関における検査の結果、7月22日17時に豚熱の患畜であることが確認されました。



豚熱は特徴的な症状がなく、気が付きにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘につぐ下痢、呼吸障害等



耳翼の紫斑



元気消失



結膜炎

写真出典：岐阜県

豚に異状がありましたら、すぐに当所へ御連絡ください！

裏面もご覧ください。

千葉県で PED が発生しました！（令和4年9月から25例目）

発生概要

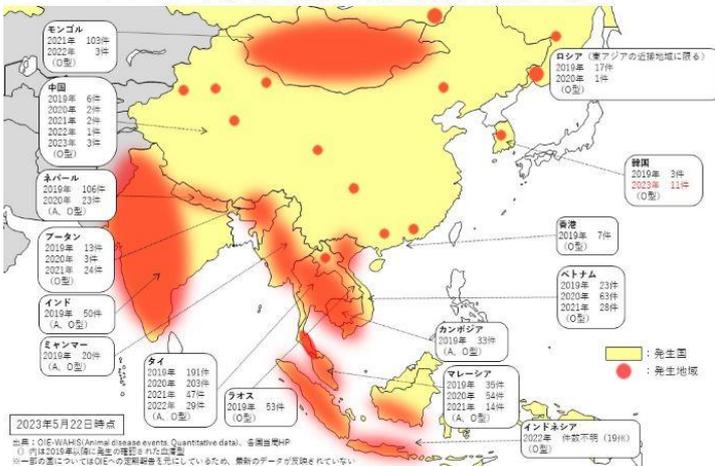
- ・所在地：千葉県 県北東部
- ・飼養状況：繁殖豚約 1000 頭、哺乳豚約 1700 頭
- ・症状：（1）7月16日に、分娩舎1部屋の母豚1腹の子豚12頭が下痢。
（2）7月18日に、同部屋の3腹のうち13頭が下痢。
いずれも死亡豚はなし。母豚は無症状。

家畜伝染病侵入防止のため、防疫対策の再確認、再徹底をお願いします！

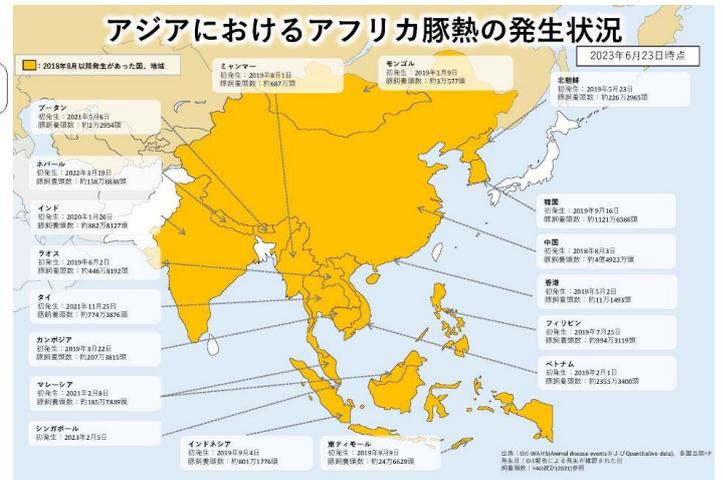
- **車両消毒**の徹底、交差汚染の防止
特にと畜場、化製場、家畜市場など畜産施設に出入りした際は、消毒を徹底
- **畜舎専用衣服・靴**の着用
- 農場・畜舎へ入る際の**手指の消毒**
- 畜舎・器具のこまめな**清掃、消毒**
- **野生動物との接触・侵入防止対策**の徹底
ネズミ、昆虫の駆除、豚舎外壁の補修、防護柵・防鳥ネットの設置等を徹底
- 毎日の**健康観察と早期発見**及び異常時の**早期通報**
- **アフリカ豚熱・口蹄疫等の発生地域、非清浄地域**への不要不急の**渡航自粛**
- 外国人技能実習生等の外国人従業員を受け入れている場合は、日本への持込みが禁止されている**肉製品等**が母国を含む**海外からの携帯品、国際郵便物等**によって**持ち込まれることのないよう、当該従業員等への周知徹底**



アジアにおける口蹄疫の発生状況（2019年以降）



アジアにおけるアフリカ豚熱の発生状況



埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）
TEL: 048-663-3071（24 時間、土日祝日も受付）